

日時 2026年3月3日(火) 10時～12時
場所 あゆみホーム
参加者 入居者、成年後見人、地域関係者、福祉に知見のある方
あゆみ福祉会(澤田・山本・中野)

1、開会の言葉

2、あいさつ

3、会議・議題

①会議の説明

②出席者自己紹介

③会議の目的

■グループホーム説明 (あゆみホーム、ホームわかば)

資料よりあゆみ福祉会ホームの目指すもの、運営状況と各ホームの紹介、障害の種別と区分について、入居者の障害支援区分、グループホームの一日の流れ、グループホームの生活の様子等を説明。実際に入居している利用者にホームの様子を話してもらった。

・グループホームのイベント

バーベキュー、夕涼み会(スイカ割りや流しそうめん、花火)、蒲生の会納涼祭へ参加。誕生日企画(本人の好きな事を聞き取り企画)を行い楽しむ機会を作ることが出来た。社会参加では期日前投票、自治会に入っている地域掃除を行い地域の方との交流を図る事ができた。

・土砂災害について(あゆみホーム・ホームふきのとう)

今後に向けてBCB計画の見直しや備蓄(食料、トイレ、避難グッズ、段ボールベッド等)設置を行っていく。

■質疑応答

あゆみホーム、ホームふきのとう、ホームぱすてるはそれぞれ男女どちらでも入居できるのか。
→あゆみホームは男性のみ、ホームふきのとうは女性のみ、ホームぱすてるは男性のみとしている。

ホームの人は、みんなあゆみ作業所に通所しているのか。
→1名他法人の事業所に通所されている方がいる。以前はあゆみ作業所に通所していたが、高工賃を目指し移動された方がいる。

■入居者家族の話

ホームではゆっくりテレビを観て楽しんでいる。ホームの生活は自由で良いと感じている。コーヒーが好きなので夕食後にコーヒータイムを作ってもらい楽しみにしている。

→過去にトラブルから病院に入院していた時があった。地域で生活したい思いからホームで暮らす中で必要な約束をし、守りながら生活をしている。今は自由な生活ができて買い物で好きなものを購入している。

成年後見を福祉会の方で何ケースか持たせてもらっている。自宅の人はよく気に掛けるが、施設に入っておられる人は任せきりになりがち。面会の場で話すことはあるが、実際にホームに入ることはないのので貴重な時間だと思う。施設の中を見てみないと分からないので、実際に見て勉強できるありがたい機会だと感じる。

■地域の方の意見

家は近くだが、全然知らなくて初めてお話を聞かせてもらった。亡くなったあゆみ福祉会の利用者と年賀状を交換していたこともある。どんな生活をされているか気になっていた。いろいろな人がいるので、ひとりひとりに合ったやり方をすると思うので大変。もっと教えていただきたい。→今年度は積極的に地域のイベントに参加したい。

5月と10月に地域清掃や河川清掃をしている、ホームの隣の市営上宅の水路が落ち葉などで良く詰まるが住んでいる人が高齢で人手が足りない。ここは、清水町の外れにあるので手薄になりがち。→連携して出来る様に体制を取りたい。

土砂災害避難警戒レベル3が出た時、地域に呼びかけをしており、このホームにも声掛けをしたが、避難先の清水会館に障がい者用のトイレがなく、清水会館には避難ができなかった。その後、清水会館に身障トイレを増設に至った。

4、グループホームの見学 あゆみホーム→ホームわかば

5、閉会のあいさつ